



http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kawasaki/

コミュニティ・スクール基本理念 一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成

川崎小学校 めざす学校像 ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

《9月児童会目標
気持ちの良いあいさつをしよう》

川崎小の子どもたちの 学力は・・・パート① ～6年生「全国学力・学習状況調査」の結果から～



NO.11 令和4年9月30日
校長 西口 昌毅



R4年度の「全国学力・学習状況調査」が4月19日に実施されましたが、その結果の集計・分析についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査とは・・・

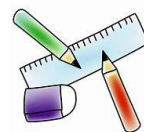
全国の6年生を対象に実施されています。教科に関する調査は、例年の国語、算数2教科に加えて、今年度は理科も実施されました。前学年までに学習した内容が出題され、前の学年に学習したことの定着度を測ります。各教科45分で取り組みます。また、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）もあります。



教科に関する調査の結果【平均正答率(%)】

6年生		R4年度	R3年度
国語	川崎小	61.4%	63.5%
	三重県	64.5%	64.1%
	全国	65.6%	64.7%

6年生		R4年度	H30年度
理科	川崎小	61.1%	53.8%
	三重県	62.6%	58.8%
	全国	63.3%	60.3%



6年生		R4年度	R3年度
算数	川崎小	60.6%	66.8%
	三重県	62.2%	69.3%
	全国	63.2%	70.2%

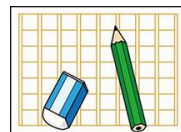
R4年度の結果をR3年度（理科は前回実施のH30年度）と比較して表にしました。全国の結果と比べてみると、R4年度は、国語で4.2ポイント、算数で2.6ポイント、理科で2.2ポイント下回っています。国語では、全国との差が若干広がりましたが、算数と理科では、その差が若干縮まりました。年度によって、問題や受験者が異なるために一概には比較できませんが、全国平均にあと少しという状況が続いています。

% 全国の平均正答率を下回ったもの

国語 問題別に分析してみると・・・

【正答率が高かった内容】

- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができる。（川崎小78.9%、全国77.9%）
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像することができる。（川崎小71.1%、全国68.3%）



【正答率が低かった内容】

- ▲表現の効果を考えることができる。【読むこと】（川崎小47.4%、全国59.2%）
- △言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることをとらえることができる。【言葉の特徴や使い方】（川崎小59.2%、全国68.8%）
- △学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
（「親しむ」を書く 川崎小60.5%、全国67.1%）
（「録画」を書く 川崎小55.3%、全国65.2%）

※一方で、「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができる（50字以上80字以内で書く）」問題（川崎小52.6%、全国47.7%）

「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる（60字以上100字以内で書く）」問題（川崎小40.8%、全国37.7%）

のように、正答率は高くないものの字数制限による記述問題はともに全国平均を上回っており、書く力の向上に一定の成果を感じています。

国語

特に正答率が低かった▲の問題から

問題文のBに入る文章を選ぶ問題です。

正答は、「2」です。

体験した信じられないような出来事を印象づけているからです。

多かった誤答は、「1」「3」です。

「1」:「空の青さ」「銀色」など、色の表現は使われていますが、季節は変わっていないからです。

「3」:「空の青さ」「風」など、空と風を表す表現は使われていますが、宇宙に行ったことについては、書かれていないからです。

国語で見えてきた課題

今後、「文章を見た目で判断するのではなく、内容を読み取る力」を、さらにつけていく必要があります。

- 1 色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。
- 2 「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。
- 3 空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。
- 4 「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

この物語は、主人公の「ぼく」が自分と同じ名前のもけい店で「老人」と出会うことから始まる。「老人」は、未来の「ぼく」のすがたかもしれないのだが、読者にそう思わせる表現が文章全体に散りばめられている。そのため、読み進めるうちに、物語の世界にどんどん引き込まれていく。そして、最後の一文「ただ、透明な空の青さのなかで、スキの穂波が銀色に光り、風にそよんでいるだけだった。」は、

B

読み終わった後も物語の世界にひたることができるおすすめ作品だ。

算数

問題別に分析してみると……

【正答率が高かった内容】

○1050×4を計算することができる。(川崎小92.1%、全国92.4%)

○表の中に入る数字と、それを求める式をかくことができる。(川崎小80.3%、全国75.3%)

○辺の大きさや角の大きさに着目し、ひし形をかくプログラムを選ぶ。(川崎小75.0%、全国66.5%)

上記のような、「整数の乗法の計算」は、本校、全国ともに正答率が高く、今後も計算を確実に解けるよう指導するとともに、「正しいプログラムを選ぶ」問題は全国平均に比べて正答率が高かったため、昨年度から配備されたタブレット端末も適宜利用しながら、学習を進めていきたいです。

【正答率が低かった内容】

▲ジュースの量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ。【変化と関係】

(川崎小14.5%、全国21.4%)

△85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための方法を選ぶ。【数と計算】

(川崎小23.7%、全国34.8%)

△14と21の最小公倍数を求める。【数と計算】(川崎小53.9%、全国72.2%)



算数

特に正答率が低かった▲の問題から

正答は「3」です。

飲み物の量が1/2になっても、果汁の割合は変わりません。

多かった誤答は

「1」:飲み物の量が1/2になると、果汁の割合も1/2になる。を選んだ人が多かったです。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、ア

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。

2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。

3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。



算数で見えてきた課題

「一方の量が $1/2$ になると、もう一方の量も $1/2$ になる。」は、比例でよく耳にする表現ですが、今回の問題では当てはまりません。今回は量ではなく、割合の問題であり、ジュースの量が $1/2$ になってもジュースの味は変わらず、果汁の割合は変わらないということになります。(果汁の割合が $1/2$ になってしまうと、ジュースの味が薄くなってしまいますね。) 日常の事象と算数とを正しく結び付けていく力が必要になると考えます。

理科 問題別に分析してみると……

【正答率が高かった内容】

- 観察の記録がだれのものであるかを正しく選ぶことができる。(川崎小94.7%、全国92.9%)
- ナナホシテントウが昆虫かどうかを説明することができる。(川崎小82.9%、全国73.1%)
- メスシリンダーという実験機器の名称を書くことができる。(川崎小73.7%、全国67.8%)

【正答率が低かった内容】

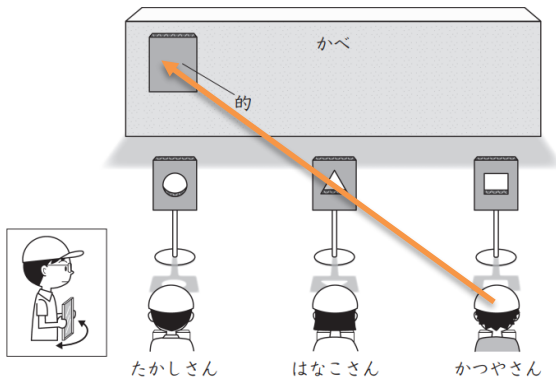
- ▲光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。
【物質・エネルギー】(川崎小17.1%、全国27.8%)
- △実験で得た結果を、分析・解釈して、自分の考えを持ち、その内容を記述できる。【物質・エネルギー】
(川崎小34.2%、全国35.1%)
- △凍った水溶液を観察し、他にも試したい実験の内容を考え記述する。【物質・エネルギー】
(川崎小34.2%、全国39.3%)



理科

特に正答率が低かった▲の問題から

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、^ま的^的をあてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある^ま的^的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までのの中から 1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん**
- 4 全員

正答は「3」のかつやさんです。

日光は直進することを理解していれば、左のような補助線 ← を使って正答に至ることができます。

多かった誤答は「2」のはなこさんです。

三角形に切り抜いた段ボール板の正面にいるはなこさんを選んでいました。

理科で見えてきた課題

学習で習得した知識を、次の学習や生活などに結び付けていくところに課題があると考えています。また、実験内容を記述する問題の正答率が低かったため、実験結果をまとめるような学習を行う必要があると考えます。

6年生「児童質問紙」調査(アンケート)から・・・

R4年度は、生活習慣や学習環境等に関することを問う「児童質問紙」の調査もありました。R3年度も同様の調査があり、質問項目が若干変更されているものもありますが、昨年度と比較しながら、特に顕著な傾向があるものを表にしました。数値は、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ子どもたちの割合です。

(表の一の部分はデータがないもの)

% 全国平均・県平均を上回ったもの

↑ 経年で上がっているもの(5ポイント以上)

% 全国平均・県平均を下回ったもの

↓ 経年で下がっているもの(5ポイント以上)



【生活習慣・学習習慣に関すること】

朝食を毎日食べている。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	93.4%	97.4%
三重県	94.3%	95.1%
全国	94.4%	94.9%

早起きと朝ごはん、寝る時間については、おおむね全国・県並みです。寝る時間が不規則な傾向にありましたが、少し改善傾向あり。

毎日同じくらいの時刻に起きる。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	89.5%	94.7%
三重県	90.5%	90.0%
全国	90.4%	90.4%

毎日同じくらいの時刻に寝る。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	80.2%	74.7%
三重県	80.7%	80.3%
全国	81.5%	81.2%

携帯電話などの使い方などについて、お家で約束が決められていない子の割合は少し減っているものの、全国・県と比べて、まだ目立ちます。

携帯電話、スマホ、パソコンの使い方について、家の人との約束がない。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	15.8%	20.0%
三重県	12.3%	13.4%
全国	11.2%	11.8%

普段(月曜日～金曜日)に1日当たりのゲームの時間が2時間以上。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	67.0%	—
三重県	53.2%	—
全国	50.2%	—

なんと、約7割の子が1日に2時間以上ゲームをしているとのこと。ゲームの時間は、全国・県と比べても、明らかに長いことがわかります。反対に、家庭学習の時間は少なめです。

普段(月曜日～金曜日)に1日当たり1時間以上、勉強をする。(塾や家庭教師も含む)	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	55.3%	61.4%
三重県	56.5%	59.6%
全国	59.4%	62.5%

読書の時間は少しずつ増えているようです。川崎小では1年間100冊を目標にしています。是非ご家庭で「読書の秋」を。

普段(月曜日～金曜日)1日あたり30分以上、読書をする。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	36.8%	31.9%
三重県	34.0%	35.6%
全国	36.4%	37.4%

今後も自主学習の奨励を続けます。「家庭学習の手引き」にありますように、宿題30分+自主学習(学年×10分)を目安に、家庭での声かけをお願いします。

家で自分で計画を立てて勉強をしている。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	65.8%	68.0%
三重県	69.5%	72.8%
全国	71.1%	74.0%

【豊かな人間性(自己有用感 地域への関心等)に関すること】

将来の夢や目標をもっている。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	85.5%	84.0%
三重県	78.3%	79.7%
全国	79.8%	80.3%

将来



将来の夢や目標をもつことについて、子どもたちの意識は高まっています。また、自己肯定感に関する項目も、増加。この2つの項目は、今後も注視したいところです。

自分には、よいところがあると思う。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	79.0%	73.3%
三重県	77.9%	76.0%
全国	79.3%	76.9%



いじめはどんな理由があってもいけない。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	96.1%	98.7%
三重県	97.1%	97.3%
全国	96.8%	96.8%

多くの児童が、「いじめを許さない心」をもち、「人の役に立ちたい」と考えています。嬉しい限りです。ただし、「思いやりの心」は、昨年度と比べると若干低下。

人が困っていたら進んで助けようとする。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	85.6%	90.7%
三重県	89.9%	90.1%
全国	88.9%	88.7%

人の役に立つ人間になりたいと思う。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	94.7%	96.0%
三重県	94.9%	95.8%
全国	95.1%	95.5%

難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	76.3%	68.0%
三重県	72.8%	71.5%
全国	72.5%	70.9%



「挑戦する気持ち」をもつ子が増えています。また、「やり遂げる気持ち」も急上昇。頼もしいです。

自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	98.7%	68.0%
三重県	87.9%	71.5%
全国	87.2%	70.9%

【学校生活、授業等の教育活動に関すること】

学校へ行くのは楽しい。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	86.8%	90.6%
三重県	85.0%	83.4%
全国	85.4%	83.4%

学校が楽しいのが何よりなのですが、ほぼ全国・県並みです。ただし、楽しくないと感じている子どももあり、今後も居心地の良い学校づくり・学級づくりを強く意識する必要があります。

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	82.9%	74.7%
三重県	77.6%	78.2%
全国	77.3%	78.2%



この項目は昨年度比で増加、また全国・県と比べても高めです。課題を見つけ、それを解決するという学習活動は、どの教科でも重要視されることです。そのための知識や知恵、情報の集め方や分析の仕方、そして人と話し合うことや自分の考えを作り上げていくことができるような力がつくよう、今後も様々な場面を設定していきたいと思っています。

算数の勉強は好き。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	61.8%	70.7%
三重県	63.2%	69.9%
全国	62.5%	67.8%

算数が好きな子がかかなり減少。全国的傾向？算数の授業理解度がもっと上がるよう、わかりやすい授業の工夫が必要です。

算数の授業内容はよくわかる。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	80.2%	85.4%
三重県	82.3%	87.0%
全国	81.2%	84.6%

国語の勉強は好き。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	54.0%	42.7%
三重県	57.5%	56.1%
全国	59.2%	58.4%

国語が好きな子はようやく過半数を超えました。しかしながら、全国・県と比べるとやや少ないです。また、国語の理解度も、わずかに県や全国に及びません。引き続き、意欲的に取り組めるような言語活動の工夫が必要と考えています。

友達との話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	84.2%	84.0%
三重県	78.6%	78.2%
全国	80.1%	78.8%

話し合い活動により学びが深まることこそが、集団で学ぶことの良さの一つだと思います。対話的な授業を心がけてきて、少しずつ、その成果が出ているようにも思います。また、友達と話し合ったり、議論したりすることの楽しさを感じている子が増えていることは良い傾向だと考えています。

国語の授業内容はよくわかる。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	81.6%	81.4%
三重県	84.3%	84.9%
全国	84.0%	84.2%

理科の勉強は好き。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	55.3%	—
三重県	79.7%	—
全国	77.3%	—

理科の授業内容はよくわかる。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	82.9%	—
三重県	87.1%	—
全国	88.5%	—

総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表する活動に取り組んでいると思う。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	76.3%	68.0%
三重県	64.5%	64.5%
全国	72.7%	73.0%



自分と違う意見について考えるのは楽しい。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	68.4%	57.4%
三重県	73.1%	70.4%
全国	73.5%	70.1%

自分の考えを発表するとき、うまく伝わるよう工夫している。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	55.2%	68.0%
三重県	63.6%	62.5%
全国	65.4%	63.5%

学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	61.8%	—
三重県	68.8%	—
全国	73.5%	—



発表の際の工夫に関しては、減少。また、学級会など、自分たちの生活をよりよくするための話し合い活動に弱さが見られます。教科学習の場面はもちろんですが、生活の中で課題を見つけ、対話の中から解決を目指す場面を意図的に作っていく必要性を感じています。

今住んでいる地域の行事に参加している。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	71.1%	74.8%
三重県	58.3%	65.7%
全国	52.7%	58.1%

地域行事への参加は、全国や県と比べて、明らかに高いです。しかし、経年で見ると、昨年度より減。新型コロナウイルスの影響も否めません。一方、地域や社会について考えるところが経年的に弱いようです。総合的な学習の時間等での地域関連学習を強化中です。

地域や社会をよくするために何をすべきか考える。	R4年度 6年生	R3年度 6年生
川崎小	32.9%	38.7%
三重県	50.2%	50.7%
全国	51.3%	52.4%

総合的な学習の時間では、主に地域関連学習を中心に進め、学校研修の中心として、先生も子どもとともに研究中です。川崎には、多くの歴史や文化、地域の人々の活動などがあります。それらを教材化して、いろいろな学びにつなげていきたいです。地域の方々や保護者の方々の協力をいただきながら、これからも、地域を学び、地域を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。